

コースコード : CI-DCMDS

税抜価格 : 480,000円

日数 : 4日間

前提条件

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

- ・データストレージのハードウェアコンポーネントの基礎知識
- ・SCSIやファイバーチャネルなどのストレージプロトコルの基礎知識
- ・イーサネットやIPなどのネットワークプロトコルの基礎知識 ・ルーティングやスイッチングの基礎知識

下記のコースを受講済み、または同等の知識を有する方

[CCNA \(Implementing and Administering Cisco Solutions\)](#)

[DCFNDU \(Understanding Cisco Data Center Foundations\)](#)

受講対象者

- ・CCNP Data Center認定の取得を目指す方
- ・シスコ認定スペシャリスト - Data Center SAN Implementationの取得を目指す方
- ・ストレージネットワークの設計者
- ・ストレージネットワークの管理者
- ・ストレージネットワークの業務に携わるエンジニア

コース概要

このコースはCisco MDS 9000シリーズスイッチを使用したストレージネットワークの設定と管理を行うストレージネットワーク技術者のために作られています。このコースでは、Cisco MDS 9000シリーズスイッチの設定と管理を行うために必要な知識と技術を、講義とラボ演習を通じて学習します。

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

- ・Cisco MDS 9000シリーズスイッチの主要なアーキテクチャを理解する
- ・SANファブリックの初期設定、VSAN、NPV、ゾーニング、デバイスエイリアス、IVRなどの主要な機能を設定する



- ・ NX-OSをアップグレードする
- ・ NX-API、Slow-Drain分析、SANアナリティクス、32Gbファイバーチャネルなどの最先端の機能を設定する

アウトライン

- ・ Cisco MDSプラットフォームの紹介
- ・ 製品の主要な機能の紹介
- ラボ 1: DCNMのセットアップ
- ラボ 2: DCNM-SANクライアントとDCNMデバイスマネージャーの調査
- ラボ 3: RBACの設定
- ラボ 4: DCNM-SANクライアントおよびデバイスマネージャーでRBACを設定
- ラボ 5: VSANおよびファイバーチャネルドメインの管理
- ラボ 6: NPVおよびNPIVの設定
- ラボ 7: インターフェースの設定
- ラボ 8: デバイスエイリアスとゾーニングの設定
- ・ 新機能の紹介
- ラボ 9: NX-APIによる探索と自動化
- ラボ 10: Cisco DCNMでSlow-Drain分析を実行
- ラボ 11: SANアナリティクスおよびSANテレメトリ ストリーミングの設定
- ・ SANの拡張機能の紹介
- ラボ 12: FCIPトンネルとFCIP高可用性の設定
- ラボ 13: SAN拡張用のIVRの設定
- ・ 一般的なCisco MDSの問題のトラブルシューティング
- ラボ 14: ゾーニングとゾーンマージのトラブルシューティング